

増設雑固体廃棄物焼却建屋における火災報知器作動について

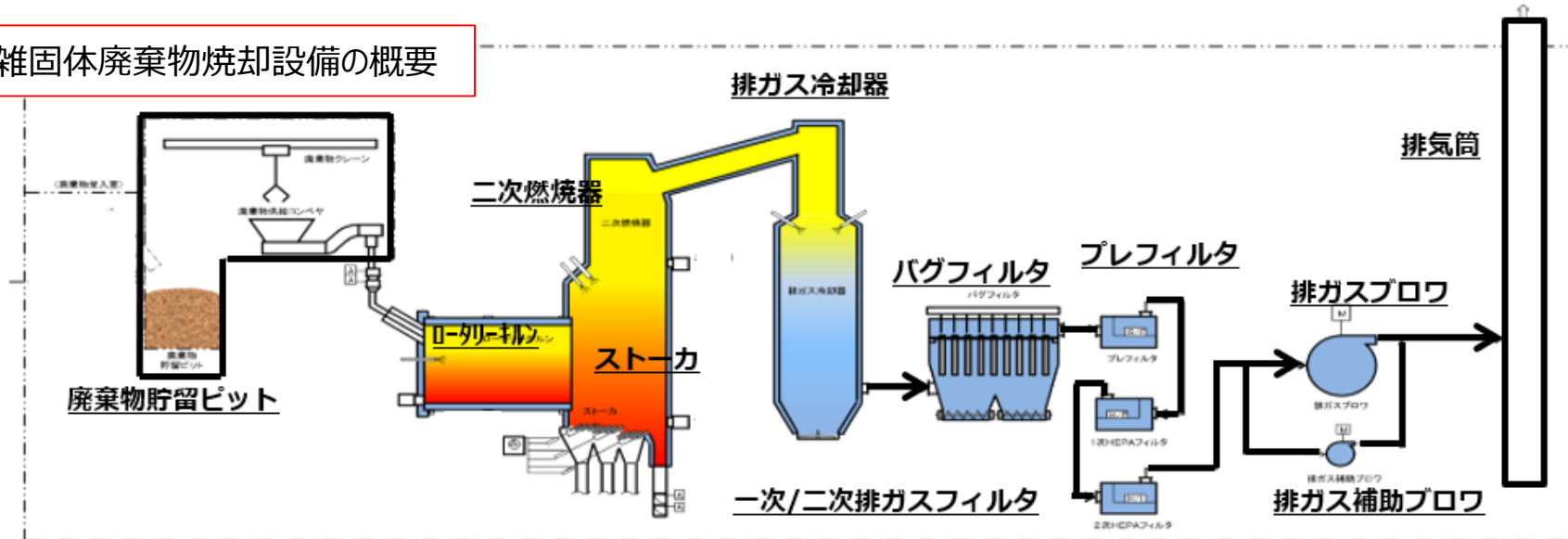
2024年2月29日

TEPCO

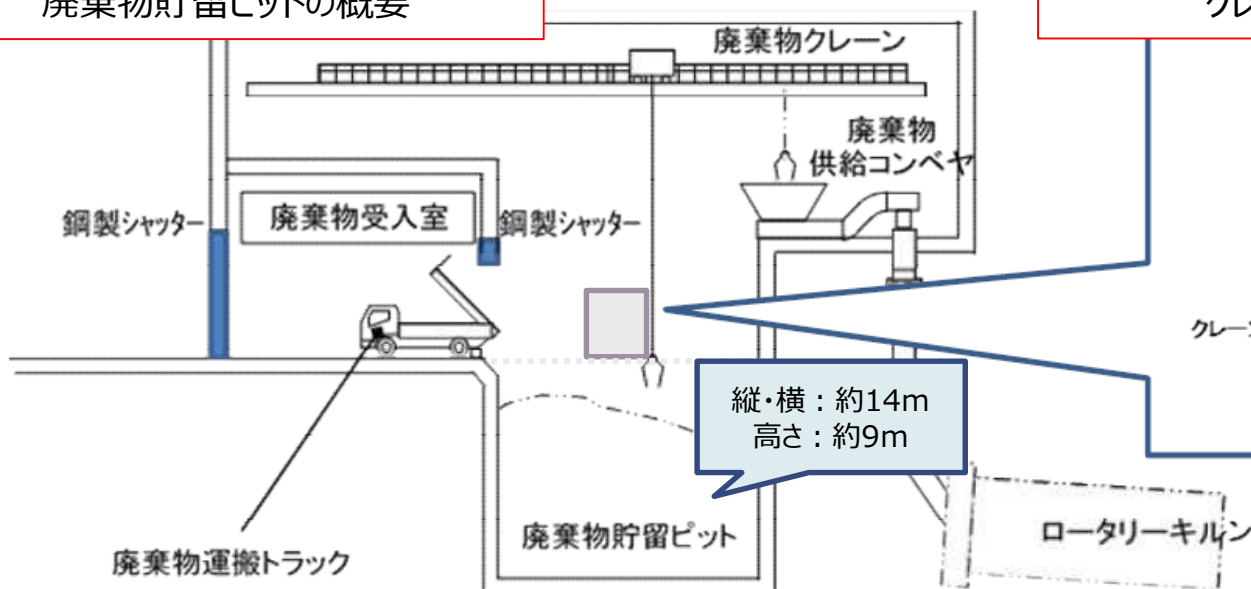
東京電力ホールディングス株式会社

- 2月22日午前3時37分、増設雑固体廃棄物焼却建屋5階の廃棄物貯留ピットの火災報知器が動作し、監視カメラで現場付近を確認したところ、現場火元なしを確認していましたが、その後、水蒸気により現場確認ができなくなったため、同日午前5時58分に消防へ通報しています。火災報知器の作動によって停止していた排気設備の復旧は、2月22日午後4時8分より開始し、同日午後8時9分に復旧作業を終了しました。
- その後、廃棄物貯留ピットに滞留していた水蒸気の排気を継続的に実施しましたが、視認性が確保できる状況まで水蒸気の滞留が解消に至らなかったため、より安全を考慮し2月23日午前0時40分にピット内へ注水を開始しました。
- 2月24日午後2時47分、公設消防により「非火災」と判断されました。なお、廃棄物貯留ピット内に炎は確認されておらず、また、廃棄物貯留ピット近傍の温度に上昇は確認されておられません。
- その後、廃棄物貯留ピット上部の温度が低下したこと、ピット内の伐採木チップがほぼ水没していることから、2月25日午後2時03分に注水を停止しました。（合計注水量：約1,200m³）
- 水蒸気の滞留は減少傾向にあるものの、視認性が十分確保されていない状況であるため、今後も排気を継続するとともに、現場状況を確認してまいります。
- 2月26日、同建屋の出入り管理所1階及び送風機室1階（非管理区域）の壁面に水の付着（計7箇所）を確認しましたが、バックグラウンドレベルと同等であること、建屋外への漏えいがないことを確認しています。付着していた水は拭き取りを完了していますが、2月27日に念のため当該エリアを「管理区域」へ変更し、パトロール強化と機動的対応の準備を進めるとともに、今後、早期復旧に向けた取組を進めてまいります。
- なお、作業員の被ばくや周辺モニタリングポスト等への影響は確認されておられません。

増設雑固体廃棄物焼却設備の概要



廃棄物貯留ピットの概要



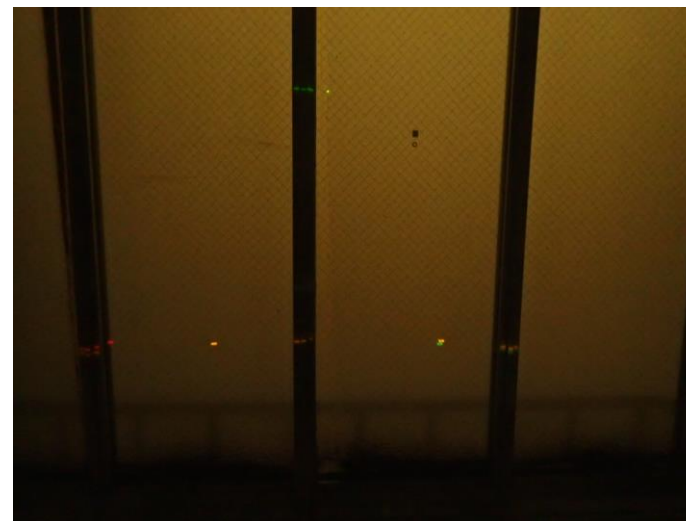
クレーンの操作室



クレーン操作室からの様子



通常時



2/26 午後1時頃撮影

※窓ガラス内側の汚れで変色していると推定